

〔Daily 日本史〕 ～古代史前半～

【問】 2002 年 明治大学 2/15, 本学 文一部

次の A・B・C の文章を読み、それぞれの設問に答えよ。

A 中国の『漢書』地理志によれば、倭人は、紀元前 **108** 年に武帝が設置した **(a)** 郡に使者を派遣した。『後漢書』東夷伝には、西暦 **57** 年に倭の奴国が光武帝に使者を送り、^(ア)印綬を与えられたことが記載されている。これが「漢委奴国王」の金印と考えられている。この^(イ)奴国は、現在の福岡市付近にあった小国と推定されている。後漢は3世紀初めにほろび、魏・呉・蜀の三国が対立する三国時代になった。『魏志倭人伝』には、倭国に大乱があったこと、その後に^(ウ)卑弥呼が共立されたことが書かれている。卑弥呼は **239** 年に魏の皇帝に使者を派遣し、「親魏倭王」の称号と金印・銅鏡を与えられた。

設 問

1 空欄**(a)**にあてはまる郡名を一つ選べ。

- ① 帯 方 ② 臨 屯 ③ 楽 浪 ④ 玄 菟

2 下線部**(ア)**に関して述べた文として、**正しいもの**を一つ選べ。

- ① 「印綬」とは、印とひものことである。
② この金印と同じつまみの金印が、中国の雲南省からも出土した。
③ 金印は陽刻で、文書の押印に使用されたい。
④ 金印は陽刻で、ひもの結び目の封印に使用されたい。

3 下線部**(イ)**に関連して述べた文として、**正しいもの**を一つ選べ。

- ① 奴国の使者は、自ら司馬と称した。
② 弥生時代の平形銅剣は北部九州を中心に分布する。
③ 弥生時代の九州北部の遺跡に、池上曾根・板付・菜畑遺跡がある。
④ 九州北部の弥生時代中期の遺跡から、中国製の鏡が出土している。

4 下線部**(ウ)**について述べた文として、**正しいもの**を一つ選べ。

- ① 卑弥呼には男弟がいて、鬼道につかえていた。
② 卑弥呼の没後、ただちに宗女の壺与が即位した。
③ 卑弥呼は一大率を置いて、諸国の市を監督した。
④ 卑弥呼の没後、奴碑百余人が殉葬された。

B 律令制国家の統治機構として、太政官と神官があった。(イ)太政官の下には八省があつて、それぞれ政務を担当した。国政の運営は、太政大臣、左・右大臣、大納言などから構成される(ロ)太政官会議で進められた。全国は畿内・七道に区分され、その下に国・郡・里が設置された。これら行政区の官人として、(ハ)国司・郡司・里長が任命された。国司は中央の貴族から任命されて、各地に一定期間派遣された。郡司は地方豪族から選出された。また、(ニ)京には左・右京職、難波には摂津職、西海道には大宰府が置かれた。

設 問

5 下線部(エ)に関連して述べた文として、**正しいもの**を一つ選べ。

- ① 裁判や刑罰は、刑部省が管轄した。
- ② 租税・民政は、大蔵省が担当した。
- ③ 詔・勅の作成は、宮内省でおこなわれた。
- ④ 文官と武官の人事は、式部省が扱った。

6 下線部(オ)に関連して述べた文として、**正しいもの**を一つ選べ。

- ① 公文書の様式は、律令に規定がなかった。
- ② 太政大臣、左・右大臣、大納言などは、公卿と呼ばれた。
- ③ 太政大臣は、正三位以上から任命された。
- ④ 太政官会議で全員一致すれば、天皇の裁可は不必要であつた。

7 下線部(カ)に関して述べた文として、**誤っているもの**を一つ選べ。

- ① 里は五十戸から構成され、里長は「五十戸良」とも表記された。
- ② 郡司には、任期制がなかった。
- ③ 郡司には、もとの国造などが選ばれた。
- ④ 国司の長官は守、次官は輔と呼ばれた。

8 下線部(キ)について述べた文として、**誤っているもの**を一つ選べ。

- ① 左・右京職は、朱雀大路で左・右に分けて、職務をおこなった。
- ② 摂津職は、大宰府と同様に国司を通して民衆を支配した。
- ③ 大宰府は「遠の朝廷」とも呼ばれた。
- ④ 大宰府には、防人司が設置された。

C 平安遷都後、(1)唐に留学した最澄と空海が帰国し、新しい仏教の教えを伝えた。最澄は唐の天台山に学んで天台宗を伝え、(2)南都仏教から独立して、比叡山に延暦寺を建てた。また、空海は真言宗を伝え、高野山に金剛峰寺を建て、(3)東寺(教王護国寺)を中心に活動した。特に空海は、神秘的な呪法で悟りを開く密教の方法をとりいれた。後に天台宗でも、密教が採用された。(4)真言宗系を東密、天台宗系を台密と呼ぶ。

設 問

9 下線部(1)について述べた文として、**誤っているもの**を一つ選べ。

- ① 最澄と空海は同じ遣唐使に従って、804年に入唐した。
- ② 最澄と空海は同じ年に帰国した。
- ③ 最澄は伝教大師、空海は弘法大師である。
- ④ 最澄は近江出身、空海は讃岐出身である。

10 下線部(2)に関して述べた文として、**正しいもの**を一つ選べ。

- ① 最澄は、南都仏教勢力の戒壇独占を批判し、自ら戒壇設置運動をおこした。
- ② 最澄は、南都諸宗の学僧と教義上の論争は慎重に避けた。
- ③ 最澄がめざしたのは、小乗戒壇の設立であった。
- ④ 最澄の著作『山家学生式』は、南都諸宗批判に向けられた。

11 下線部(3)に関して述べた文として、**正しいもの**を一つ選べ。

- ① 東寺は東市、西寺は西市に面して建立された。
- ② 東寺は、桓武天皇が空海に与えた寺である。
- ③ 空海は、東寺を密教の中心道場と位置づけた。
- ④ 東寺は、平安宮内に設置された唯一の寺院であった。

12 下線部(4)に関して述べた文として、**誤っているもの**を一つ選べ。

- ① 密教に対し、経典から学んで修行するのが顕教である。
- ② 真言・天台宗とも、加持祈禱かじきとうによる現世利益をはかった。
- ③ 台密は最澄の弟子の円仁・円珍によって、本格的にとりいれられた。
- ④ 円仁の門徒は寺門派、円珍の門徒は山門派にわかれて、対立した。

【解答】

A	1	③	2	①	3	④	4	④
B	5	①	6	②	7	④	8	②
C	9	②	10	①	11	③	12	④